



長崎街道木屋瀬宿記念館 みちの郷土史料館 第98回企画展

記録 とみる 木屋瀬

令和7年

10.25^土 — 12.14^日

- 【会場】 長崎街道木屋瀬宿記念館
みちの郷土史料館 企画展示室
- 【開館時間】 9:00～17:30（入館は17:00まで）
- 【休館日】 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
- 【観覧料】 無料（ただし、みちの郷土史料館の入館料が必要）
入館料：大人240円 / 高校生120円 / 小中学生60円
※高齢者・障がい者・団体（30人以上）割引あり
- 【主催】 北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館・同運営協議会
当館は、令和8年1月1日に開館25周年を迎えます。



北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

〒807-1261 福岡県北九州市八幡西区木屋瀬三丁目16-26
TEL:093-619-1149 FAX:093-617-4949



江戸時代当時、オランダとの唯一の貿易港が開かれていた長崎から小倉及び大里までを最短距離で結んだ、九州で最も重要な道とされる「長崎街道」の宿場町「木屋瀬」に焦点をあてた企画展です。

木屋瀬は、古代より宿駅としての機能があったとされ、江戸時代には福岡藩が整備したうち、最も栄えた六つの宿場を指す「筑前六宿」として繁栄し、近代の炭坑景気に押し上げられた昭和時代には、商工業者が集まり最も人口が増加していきました。そんな木屋瀬では、激動の時代を移り変わる中で、様々な記録が生み出され、国内外の要人または地域の人々が大切に保管し、後世へと伝えられてきました。特に、木屋瀬の住人には江戸時代に他の地域から移住してきた方も散見され、それらの家系には由緒と歴史が刻まれた多くの記録が代々に伝えられています。そんな貴重な資料の数々は地元の人々の手で小学校校舎の転用材を利用し建てられた「木屋瀬郷土資料館」に預けられ、現在は、郷土資料館を継承する当館がその一部を引き継ぎ、みちの郷土史料館にて保管・公開しています。

今回の企画展では、江戸時代の木屋瀬に関する展示解説に加えて、明治時代以降の様々な資料、そして、戦後80年の節目に合わせ夏季企画展で公開した「木屋瀬戦争資料」についても展示予定です。江戸時代の木屋瀬宿について詳しく紹介している当館の常設展示と併せて、記録とみる木屋瀬の移り変わりをぜひご覧ください。

記録とみる木屋瀬



麻生東谷 絵手本（チラン内挿絵）



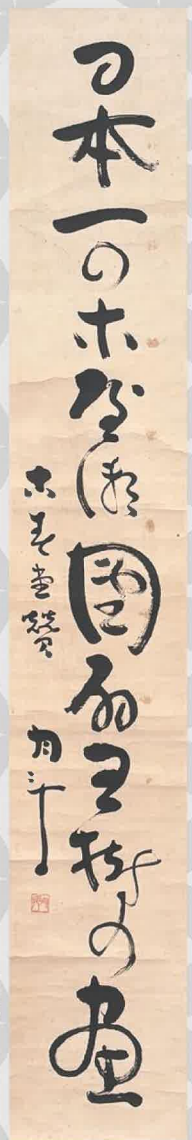
木屋瀬宿本町節節約束



筑前国孝子良民伝



東岡堂 阿部峯子「伊勢詣日記」/ 個人蔵



→伊藤家 青木月斗書



北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

〒807-1261 福岡県北九州市八幡西区木屋瀬三丁目16-26
TEL:093-619-1149 FAX:093-617-4949